

令和8年度 調布市立第七中学校 指導計画・評価計画表 【1年生 理科】

観点：① 知識・理解 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

指導単 元	観点	単元の評価規準(学習評価表)	具体的評価規準(おおむねB)	評価方法・場面	弱点克服
共通	③	<ul style="list-style-type: none"> 授業に積極的に参加し、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的な視点や目的意識をもって学ぼうとしている。 ノートや実験観察レポートなど主体的に取り組む、提出することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既知の事実や身近な事象と関連付けて、意欲的に学ぶことができる。 観察や実験を意欲的に行い、ノートや観察実験プリントにまとめて提出することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 提出物（レポート、ワークなど） 振り返りシート 	<ul style="list-style-type: none"> 未提出物の連絡 可能ならばその日の授業で提出させる。
生物 の世界 4月～ 5月	②	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの生物について、いろいろな生物の特徴をとらえ、共通点と相違点を見だして表現している。 花のつくりの観察から、共通する花の基本的なつくりに気づくことができる。 植物や動物の特徴を捉え、分類することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察した生物の特徴をいくつか書き出し、共通点と相違点を見だし、表現している。 植物の花のつくりや根・茎・葉のつくりの特徴をとらえ、その特徴の共通点と相違点を見だして表現している。 セキツイ動物や無セキツイ動物の特徴をとらえ、その特徴の共通点と相違点を見だして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察実験への取り組み 定期考査 単元テスト 観察実験レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの難易度別問題演習 毎授業内での復習
	①	<ul style="list-style-type: none"> ルーペや顕微鏡を使って正しく観察ができる。 植物の各部分の名前やはたらきについて理解し、知識を身につけている。 セキツイ動物や無セキツイ動物などの特徴を理解し、観察実験を通して、その知識を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ルーペや双眼実態顕微鏡を操作して観察し、正しい手順でスケッチしている。 被子植物や裸子植物などを比較して、分類するための特徴の共通点と相違点を理解している。 セキツイ動物や無セキツイ動物を比較 		

			して、分類するための特徴の共通点と相違点を理解している。		
物質のすがた 6月～9月	2	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の性質における規則性を見だして表現している。 ・それぞれの気体に特有の性質があることを見だして表現している。 ・状態変化や水溶液における規則性を見だし、表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有機物や無機物、金属や非金属など見た目が似ている物質を見て、どのように区別できるかという問題を見だして、性質について自らの考えをまとめている。 ・それぞれの気体に特有の性質があることを見だして表現している。 ・状態変化と体積や質量、密度の関係や融点・沸点の基本的な概念、物質の粒子性や規則性を見だして表現している。 ・水溶液における溶解と粒子の関係性や再結晶の原理、水溶液の濃度について、観察実験を通して概念や原理、法則を見だして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験への取り組み ・定期考査 ・単元テスト ・観察実験レポート ・実験に関する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの難易度別問題演習 ・毎授業内での復習

	1	<ul style="list-style-type: none"> ・有機物や無機物、金属や非金属など性質の違いを理解し、知識を理解している。 ・薬品や器具の使い方、ガスバーナーなどの過熱器具の基本操作を身に付けている。 ・気体の性質を調べる方法を理解し、その特性に応じて捕集方法や調べる方法を理解している。 ・状態変化と熱、物質の融点、沸点、水溶液について概念や原理、法則を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有機物や無機物、金属や非金属など基本的な性質の違いを理解し、知識を理解している。 ・薬品や器具の使い方、ガスバーナーなどの加熱器具の基本操作を身に付けている。 ・観察実験を通して、酸素や二酸化炭素の性質を理解している。 ・状態変化と熱、物質の融点、沸点、蒸留について観察実験を通して概念や原理、法則を理解している。 ・水溶液における溶解と粒子の関係性や再結晶の原理、水溶液の濃度について、観察実験を通して概念や原理、法則を理解している。 		
<p>身近な物理現象 10月～12月</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・光や音について、光の反射、屈折、凸レンズの働きの規則性や関係性を見いだして表現している。 ・力について、光の反射、屈折、凸レンズの働きの規則性や関係性を見いだして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光や音について、光の反射、屈折、凸レンズの働きの規則性や関係性を見いだして表現している。 ・力の3要素、力のつり合い、フックの法則などの身近な事物事象との関係性を見いだして表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験への取り組み ・定期考査 ・単元テスト ・観察実験レポート ・実験に関する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの難易度別問題演習 ・毎授業内での復習
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・光や音に関する事物、事象を日常生活などに関連付けながら、光の反射、屈折、凸レンズの働きについて基本的な概念や原理・法則について理解している。 ・力に関する事物、事象を日常生活などに関連付けながら、光の反射、屈折、 	<ul style="list-style-type: none"> ・光や音に関する光の反射、屈折、凸レンズの働きについて、その現象を理解し、光の道筋を作図し説明できる。 ・力の3要素、力のつり合い、フックの法則などの基本的な原理・法則について観察実験を通して理解している。 		

		凸レンズの働きについて基本的な概念や原理・法則について理解している。			
大地の変化 1月～3月	2	・大地の成り立ちと変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関連性などを見いだして表現している。	・大地の成り立ちと変化について、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関連性、地震の伝わり方の規則性、身近な自然恩恵と自然災害などを見いだして表現している。	・観察実験への取り組み ・定期考査 ・単元テスト ・観察実験レポート	・単元ごとの難易度別問題演習 ・実験に関する技能
	1	・大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事象・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害を理解しているとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けている。	・身近な事象・現象と関連付け、観察、実験を通して地震や岩石、鉱物、地学的な自然災害や自然災害などを理解している。 ・プレート・震源、震央・初期微動、主要動などの用語を使い、地震の基本的な原理を説明している。		